



2023年3月期第2四半期 決算説明会

2022年11月4日

スタンダード:6467

株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION

<https://www.nichidai.jp/>

1) 事業紹介

2) 23/3期第2四半期 決算概要

3) 23/3期通期 業績予想

4) 配当について

5) 中期経営戦略

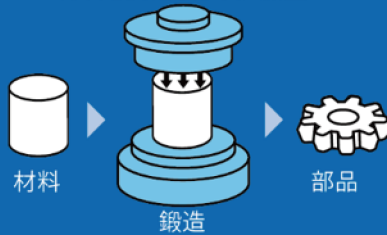
自動車関連

高精度な自動車部品をつくる
「金型」をトータルサポート

ネットシェイプ事業

Net-Shape Business

一発のプレスで
材料を複雑な形状に加工



高精度 省資源 高強度

金型



工程設計から金型生産部品製造までのトータルエンジニアリングを提供

精密鍛造品



金型技術を活かした付加価値の高い部品の提供

自動車用ターボチャージャーの
キーパーツを組み立て

アッセンブリ事業

Assembly Business

多くのパーツを組み合わせて
部品を組立て



高品質 自動化 2極生産

ターボチャージャーの部品

ターボチャージャー部品の組立てで顧客企業の現地調達ニーズに対応



この部分を組立てています。

過酷な条件でも使える金属
フィルターをさまざまな産業に提供

フィルタ事業

Filter Business

ステンレスの金網を
重ねて焼結して加工



高強度 耐熱 耐酸性

産業用フィルター

積層焼結フィルターの生産と顧客メーカーの用途に応じた形状に加工



洗浄・再生サービス

フィルターの洗浄・再生サービスの提供

化学・船舶・医薬品・食品など

1) 事業紹介

2) 23/3期第2四半期 決算概要

3) 23/3期通期 業績予想

4) 配当について

5) 中期経営戦略

単位:百万円

	23年3月期 第2四半期 予想 (2022年4 月発表)	23年3月期 第2四半期 (実績)	増減額	増減率
売上高	5,850	5,248	▲601	▲10.3%
営業利益	90	▲143	▲233	-
経常利益	85	▲25	▲110	-
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	25	▲151	▲176	-

概要

- 2022年4月に発表した2023年3月期第2四半期の業績予想値と実績値に差異が発生。
- 上半期、主要顧客である日系自動車メーカーの生産不振により、ネットシェイプ事業の売上高が想定を下回る結果となり、損失を計上。

2) 23/3期第2四半期 決算概要 -売上高・利益の状況-

単位:百万円

科 目	22/3期 第2四半期 実績	23/3期 第2四半期 実績	対前期 増減率	23/3期 第2四半期 計画
売上高	6,788	5,248	▲22.7%	5,850
売上総利益	1,338	939	▲29.8%	1,190
販売管理費	1,082	1,083	+0.0%	1,100
営業利益	255	▲143	-	90
営業外損益	5	▲118	-	5
経常利益	250	▲25	-	85
親会社株主に帰属 する四半期純利益	142	▲151	-	25

※百万円未満切り捨て

単位:円

為替レート	22/3期 第2四半期 実績	23/3期 第2四半期 実績
米ドル	107.76	123.18
タイバーツ	3.49	3.64

概要

■売上高

上半期は部品調達困難による自動車産業の停滞の影響を受け、前年と比較し大幅に減少。

■営業利益

売上高の大幅減少に伴い損失を計上。

■営業外損益

円安の急激な進行による為替差益4千万円と助成金収入2千2百万円を計上。

2) 23/3期第2四半期 決算概要 -事業別売上高の状況-

単位:百万円

事業セグメント	22/3期 第2四半期 実績	23/3期 第2四半期 実績	対前期 増減率
ネットシェイプ 事業	3,360	2,733	▲18.7%
アッセンブリ 事業	2,204	1,281	▲41.9%
フィルタ 事業	1,222	1,233	+0.9%
連結計	6,788	5,248	▲22.7%

概要

■ネットシェイプ事業
自動車産業における生産停滞の影響により、売上高が低調に推移。

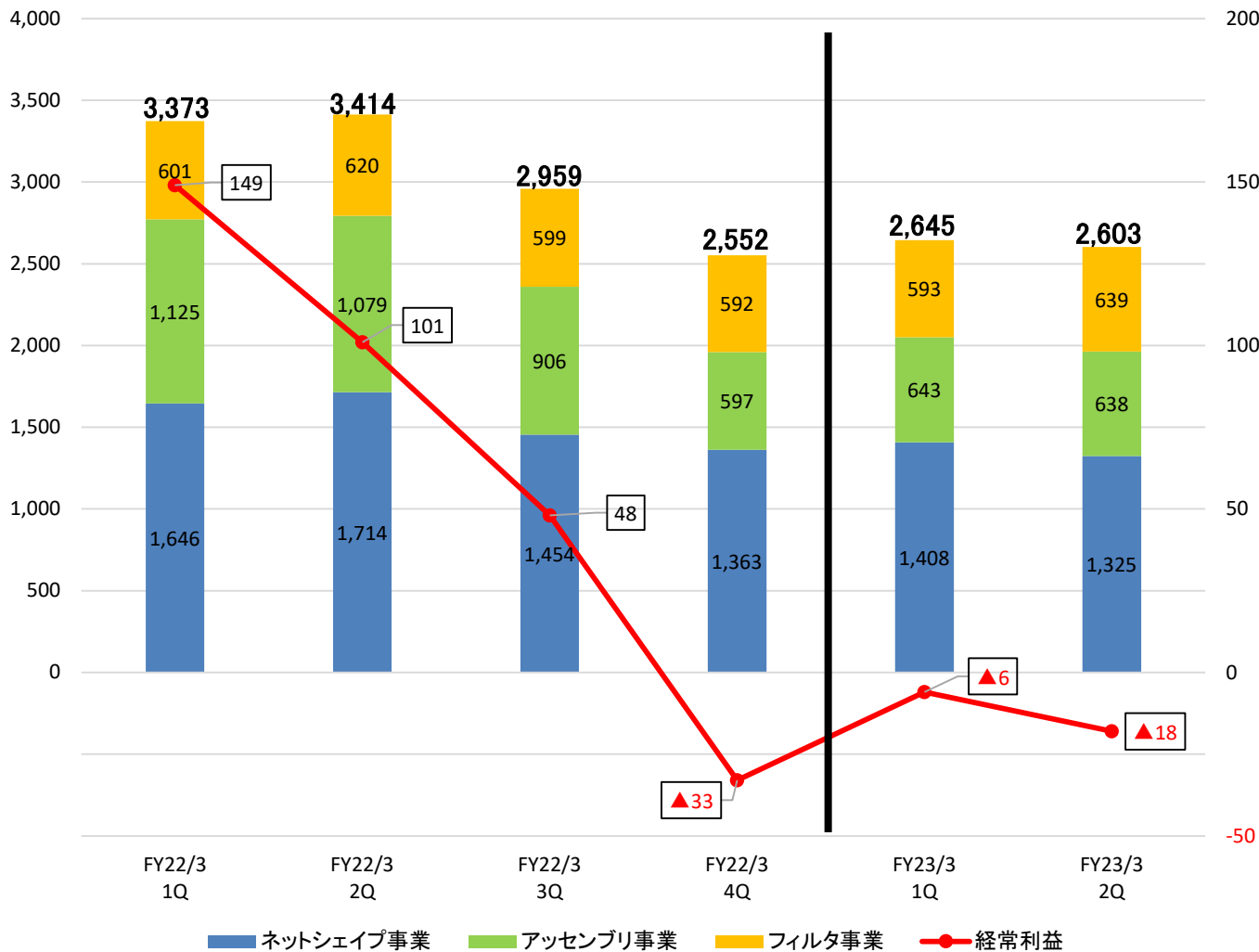
■アッセンブリ事業
ターボチャージャー部品の需要低迷が継続し、売上高が減少。

■フィルタ事業
新規需要を取り込みながら、前年と同水準の売上を計上。

※百万円未満切り捨て

売上高(左軸)
棒グラフ
単位:百万円

経常利益(右軸)
折れ線グラフ
単位:百万円



※百万円未満切り捨て
グラフ上方:売上高合計

概要

- 期初に予測した自動車生産の回復は、上海ロックダウンと世界的な半導体・部品調達困難などにより低調に推移し、当社の事業にも影響。
- 自動車業界に関連が深いネットシェイプ事業とアッセンブリ事業は自動車産業の不振を受け、売上高が減少。
- フィルタ事業は、引き続き堅調に推移。

《国内外別売上高・経常利益》

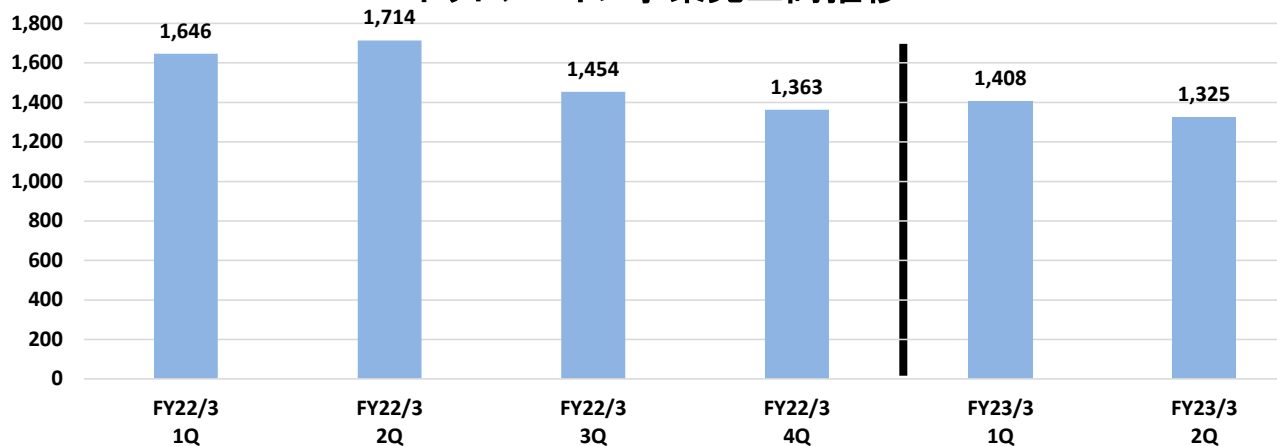
単位：百万円

ネットシェイプ事業	22/3期 第2四半期 実績	23/3期 第2四半期 実績	対前期 増減率
国内	2,092	1,791	▲14.4%
海外	1,268	942	▲25.7%
売上高計	3,360	2,733	▲18.7%
経常利益 (経常利益率)	87	▲113	-
	2.6%	▲4.1%	-

※百万円未満切り捨て

ネットシェイプ事業売上高推移

単位：百万円



概要

【売上高増減要因】

上半期は、日系自動車産業の予想以上の停滞により、金型・精密鍛造品が低水準で推移。そのため、売上高が前年同期比大幅に減少。

【経常利益増減要因】

売上高の大幅減少に伴い損失を計上。

《国内外別売上高・経常利益》

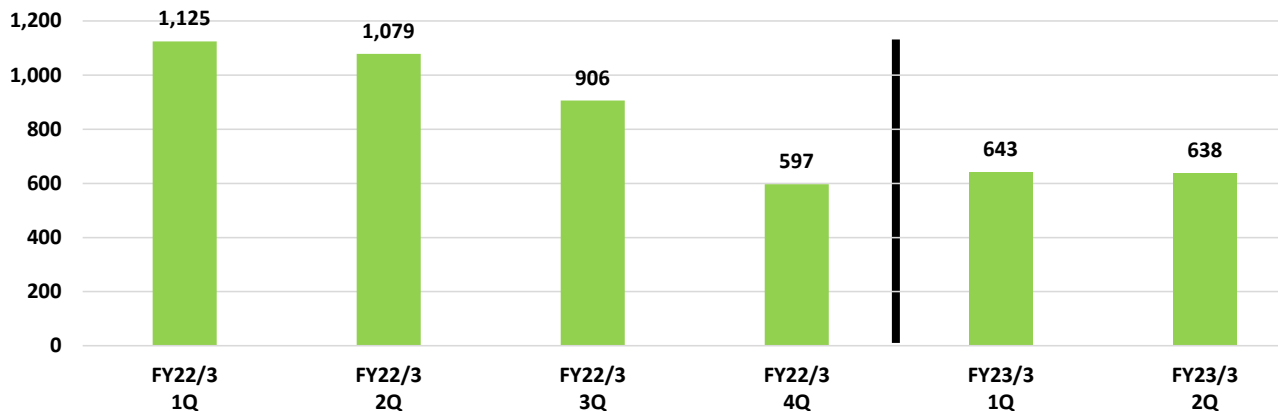
単位：百万円

アッセンブリ事業	22/3期 第2四半期 実績	23/3期 第2四半期 実績	対前期 増減率
国内	943	718	▲23.8%
海外	1,261	563	▲55.3%
売上高計	2,204	1,281	▲41.9%
経常利益 (経常利益率)	0	▲53	-
	0.0%	▲4.2%	-

※百万円未満切り捨て

アッセンブリ事業売上高推移

単位：百万円



概要

【売上高増減要因】

上半期は、部品供給不足等により自動車の生産が停滞。ターボチャージャー部品の需要減少などにより、大幅に売上高が減少。

【経常利益増減要因】

売上高の急激な落ち込みにより、損失を計上。

《国内外別売上高・経常利益》

単位：百万円

フィルタ事業	22/3期 第2四半期 実績	23/3期 第2四半期 実績	対前期 増減率
国内	807	824	+2.1%
海外	415	409	▲1.5%
売上高計	1,222	1,233	+0.9%
経常利益 (経常利益率)	161	141	▲12.5%
	13.3%	11.5%	-

概要

【売上高増減要因】

多種多様な顧客業界へ製品を供給しており、安定した売上高を維持。

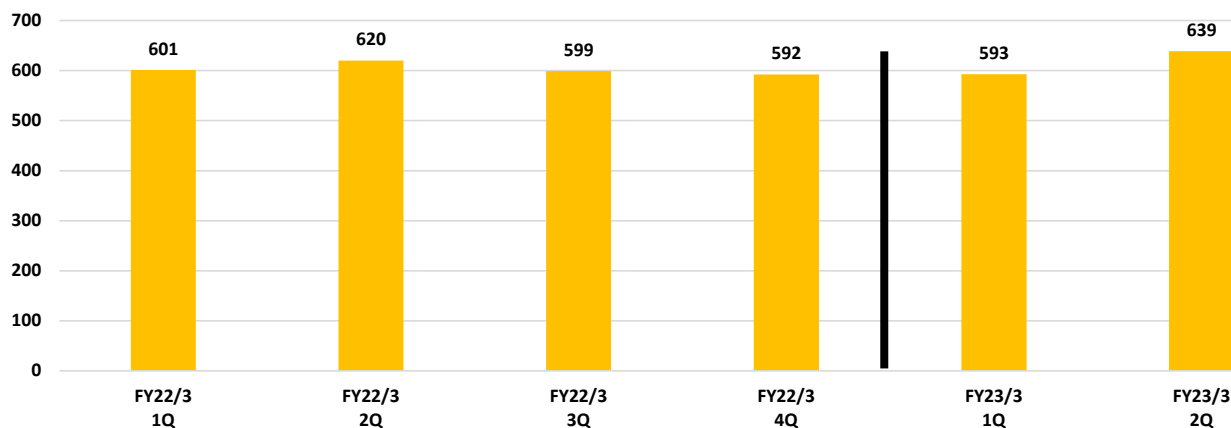
【経常利益増減要因】

製品構成の変化などで経常利益は対前年比減少。

※百万円未満切り捨て

フィルタ事業売上高推移

単位：百万円



22年3月期
資産合計
15,327

+313

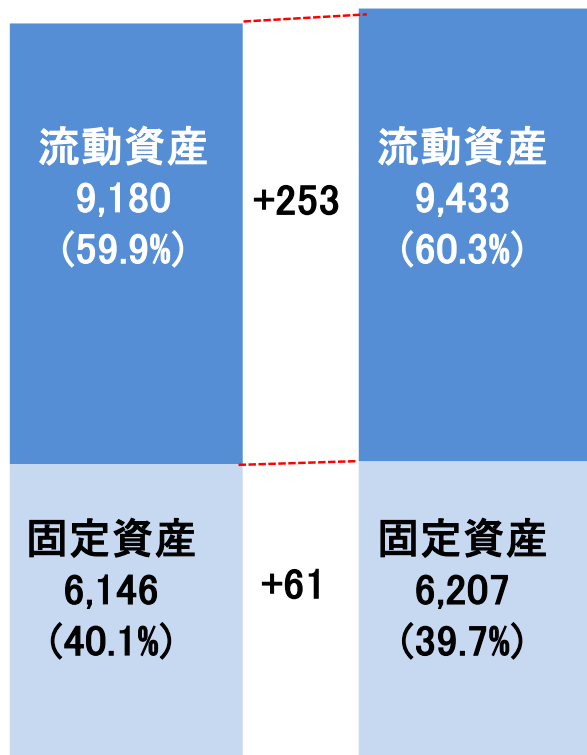


23年3月期 第2四半期
資産合計
15,641

※百万円未満切り捨て・()内は構成比

資産の部

単位:百万円

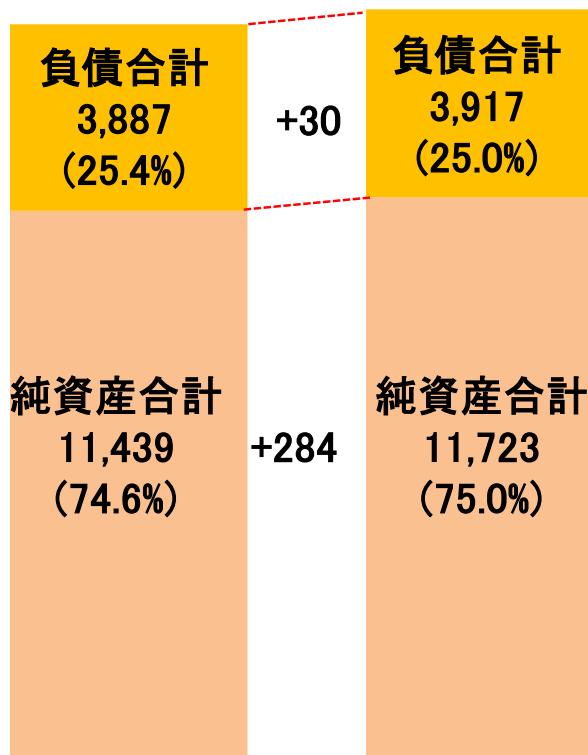


FY22/3

FY23/3 2Q

負債・純資産の部

単位:百万円



FY22/3

FY23/3 2Q

概要

■流動資産

現金および預金

22/3 4,056百万円

23/3 2Q 4,138百万円

(+81百万円)

棚卸資産

22/3 1,986百万円

23/3 2Q 2,040百万円

(+54百万円)

■有利子負債

22/3 2,059百万円

23/3 2Q 2,002百万円

(▲57百万円)

■為替換算調整額

22/3 295百万円

23/3 2Q 655百万円

(+360百万円)

単位:百万円

	22年3月期 第2四半期 実績	23年3月期 第2四半期 実績	増減額
営業活動によるCF	380	190	▲190
投資活動によるCF	▲310	▲276	+33
財務活動によるCF	346	▲89	▲436
現金及び現金同等物に係る 換算価額	11	233	+221
現金及び現金同等物増減額	429	57	▲371
現金及び現金同等物の 期首残高	3,144	3,767	+623
現金及び現金同等物の 四半期末残高	3,573	3,825	+252
FCF	70	▲86	▲156

※百万円未満切り捨て

概要

■営業活動によるCFの 主な内訳

税金等調整前四半期
純利益(▲は損失)

21/9 224百万円

22/9 ▲86百万円

(▲310百万円)

■ 現金及び現金同等 物に係る換算価額

21/9 11百万円

22/9 233百万円

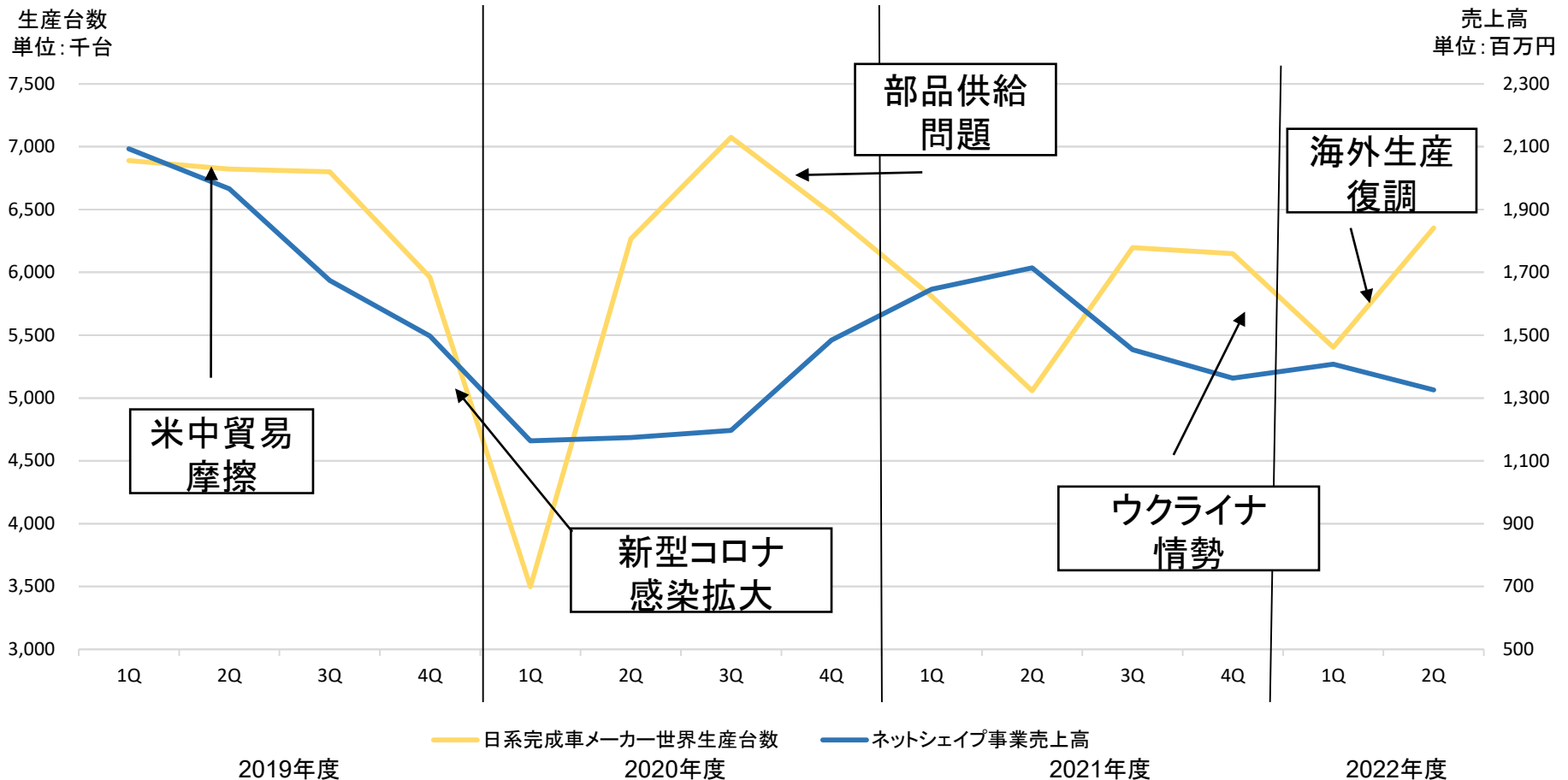
- 1) 事業紹介
- 2) 23/3期第2四半期 決算概要
- 3) 23/3期通期 業績予想**
- 4) 中期経営戦略
- 5) 配当について

経営環境	2023年3月期 上半期の状況	2023年3月期 下半期の見通し
資源高による原材料価格の高騰	各事業に影響を及ぼしており、生産コストが上昇。	コストの負担増は今後も続くと予想。
部品供給不足による影響	自動車メーカーの生産が落ち込み、業績へ影響。	部品供給不足が緩和されると想定。
地域紛争による影響	欧州情勢の乱れは経済の冷え込みをもたらし、自動車メーカーに影響。	今後も地域紛争による欧州景気の冷え込みが続くと予想。
新型コロナウイルス拡大による影響	経済や生産に打撃を与え、特に半導体不足による自動車の減産は当社に大きく影響。	全数把握の廃止や往来制限の撤廃など、影響が縮小されると予想。
脱炭素化の取組みによるEV車への急速移行	地域紛争によるエネルギー調達困難の背景下でも進行中。	引き続きEVへシフトすることを想定。

3) 23/3期通期業績予想 - ネットシェイプ事業の状況 -

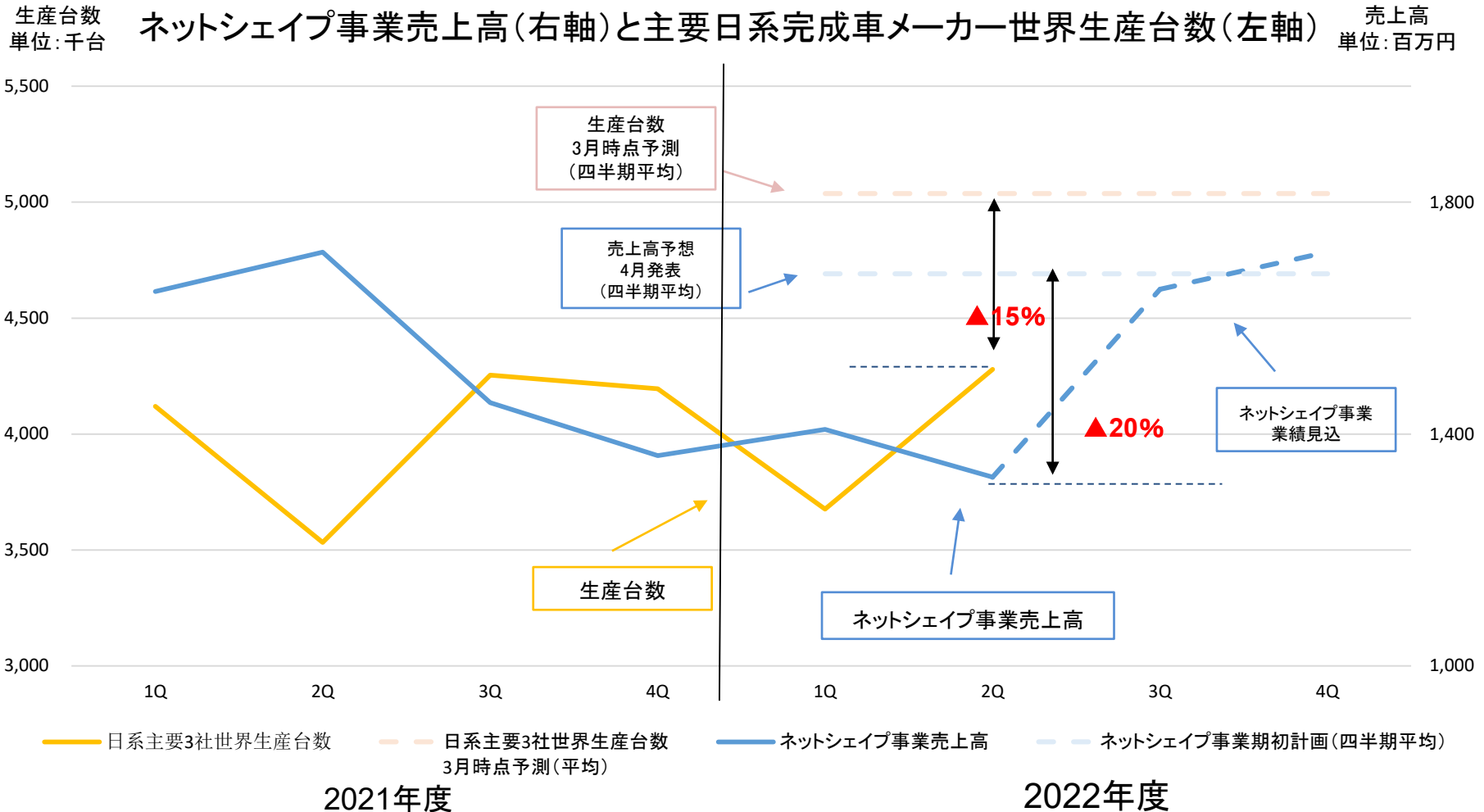
- ネットシェイプ事業は、自動車産業と深く関わりがあり、自動車産業で起こる環境変化の影響大。
- 当社ネットシェイプ事業の売上高は、日系完成車メーカーの世界生産台数と連動。

ネットシェイプ事業売上高(右軸)と日系完成車メーカー世界生産台数(左軸)



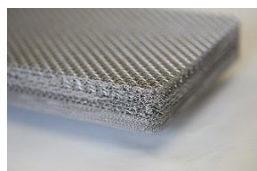
3) 23/3期通期業績予想 - ネットシェイプ事業の状況-

- 主要完成車メーカーの生産台数も期初予想と比較し、約15%減。(2022年度2Q)
- ネットシェイプ事業の売上高は、当初予想と比較し約20%減。(2022年度2Q)
- 下半期は生産台数の回復とともに、当社売上高の回復も見込む。



- フィルタ事業は自動車関連以外の産業に、多岐にわたって展開しており、収益強化の不可欠な柱として成長。
- 新規獲得により、顧客構成を変えながら、売上高を維持。
- 下半期も同水準の売上高を見込む。

フィルタ事業の多種多様な製品ラインナップ(一例)



3) 23/3期通期業績予想 -売上高・利益の状況-

単位:百万円

科目	22/3期 通期 実績	23/3期 期初 計画	23/3期 修正 計画	対前期 増減率
売上高	12,301	12,200	11,400	▲7.3%
売上総利益	2,340	2,540	2,230	▲4.7%
販売管理費	2,123	2,230	2,190	+3.1%
営業利益	217	310	40	▲81.6%
営業外損益	▲47	10	▲140	-
経常利益	264	300	180	▲32.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	▲619	200	65	-

※百万円未満切り捨て

単位:円

為替レート	22/3期 通期実績	23/3期 期初計画	23/3期 修正計画
米ドル	109.86	123.00	130.00
タイバーツ	3.44	3.60	3.70

概要

- 上半期の業績不振により、通期業績予想も修正。
(2022年10月31日発表)
- 下半期からは、部品供給不足緩和などによる自動車生産の回復を想定し、業績回復を見込む。

3) 23/3期通期業績予想-事業別売上高の状況-

単位:百万円

事業セグメント	22/3期 実績	23/3期 期初計画	23/3期 修正計画	対前期 増減率
ネットシェイプ 事業	6,179	6,750	6,100	▲1.3%
アッセンブリ 事業	3,708	3,000	2,870	▲22.6%
フィルタ 事業	2,413	2,450	2,430	+0.7%
連結計	12,301	12,200	11,400	▲7.3%

概要

■ネットシェイプ事業

下半期からの回復により、前年並みの売上高となることを想定。

■アッセンブリ事業

上半期と比較し一定程度の生産回復を見込む。

■フィルタ事業

堅調な売上高を維持し、前年並みの水準となることを見込む。

※百万円未満切り捨て

3) 23/3期通期業績予想 -設備投資-

単位:百万円

	18/3 実績	19/3 実績	20/3 実績	21/3 実績	22/3 実績	23/3 見込
設備 投資額	434	771	512	466	1,233	730
減価 償却費	860	853	831	759	784	640

※百万円未満切り捨て

- 1) 事業紹介
- 2) 23/3期第2四半期 決算概要
- 3) 23/3期通期 業績予想
- 4) 配当について**
- 5) 中期経営戦略

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営の重要政策と位置づけ、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針としております。また、経営環境や業績動向、配当性向などの諸指標も考慮しながら配当額を決めております。

	第2四半期	期 末	年 間
	円銭	円銭	円銭
21年3月期 (実績)	—	4.00	4.00
22年3月期 (実績)	5.00	3.00	8.00
23年3月期	4.00	4.00 (予 想)	8.00 (予 想)

- 1) 事業紹介
- 2) 23/3期第2四半期 決算概要
- 3) 23/3期通期 業績予想
- 4) 配当について
- 5) 中期経営戦略**

CHANGE① VSOP※¹精神での顧客価値創造

- 事業の成長と収益力強化
- 新事業の創出とグローバル企業への進化

CHANGE② 社員が輝き続ける会社づくり

- 社員の成長、会社の成長を喜ぶ相互関係の構築
- 社員が誇れる企業への成長

CHANGE③ 持続可能な社会への貢献

- 社会から必要とされ、選ばれる企業へ
- 次世代社会への貢献

※1: VSOP: Vitality(活気・生命力)、Specialty(専門性・技術)、Originality(独創性・創意)、Passion(情熱)の頭文字。当社の創業から受け継がれている精神。当社の経営ビジョンに含まれている。

本日は、ありがとうございました。

株式会社 ニチダイ

NICHIDAI CORPORATION

- ・ 本資料は、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定等に基づいて作成しております。
- ・ 従いまして、様々な不確定要素が内在しており、結果的には実績が見通しと異なる場合があります。

IR窓口：経営企画室／紺野

Tel : 0774-62-3485

Fax : 0774-65-2301

E-mail: konno@nichidai.co.jp

補足資料

単位:百万円

	22/3 2Q実績	比率	23/3 2Q実績	比率
売上高	6,788	100.0%	5,248	100.0%
材料費	2,399	35.3%	1,458	27.8%
製品仕入	480	7.1%	267	5.1%
外注加工費	585	8.6%	502	9.6%
補助材料費	217	3.2%	216	4.1%
人件費	1,359	20.0%	1,275	24.3%
減価償却費	321	4.7%	235	4.5%
在庫増減	205	3.0%	▲6	▲0.1%
その他	292	4.3%	346	6.9%
売上原価	5,450	80.3%	4,308	82.0%
売上総利益	1,338	19.7%	939	17.9%

※百万円未満切り捨て。

単位:百万円

	22/3 2Q実績	比率	23/3 2Q実績	比率
売上高	6,788	100.0%	5,248	100.0%
荷造・運賃	83	1.2%	72	1.5%
旅費交通費	23	0.3%	32	0.6%
人件費	557	8.2%	557	10.6%
減価償却費	71	1.0%	74	1.4%
賃借料	31	0.5%	32	0.6%
その他	315	4.6%	314	6.0%
販売管理費	1,082	16.0%	1,083	20.6%

※百万円未満切り捨て。

CHANGE	ポイント	概要
①VSOP精神での顧客価値創造	●事業の成長と収益力強化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 既存事業の強化に関わるポイント。コア技術である「精密鍛造技術」「積層焼結技術」を基盤に、提案力強化を目指す。 ■ QDC: Quality(品質)、Delivery(納期)、Cost(コスト)の頭文字。当社は差別化戦略をとっていることから、QDCの順に表記している。
	<ul style="list-style-type: none"> ・コア技術の応用と進化による提案力強化 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客視点でのQDC最大化 	
	●新事業の創出とグローバル企業への進化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 3事業の強みを活かしながら新分野の探索を行う。 ■ 引き続きグローバル戦略に関する取組みを進めていく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・シナジーを活用した新分野への探索と挑戦 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル戦略強化 	

CHANGE	ポイント	概要
②社員が輝き続ける会社づくり	●社員の成長、会社の成長を喜ぶ相互関係の構築	<ul style="list-style-type: none"> ■ 引き続き人材に関する施策を進めていく。 ■ 環境の変化に合わせてよりテーマを広げて対応を強化する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・挑戦を歓迎する仕組みづくり 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・組織風土改革 	
	●社員が誇れる企業への成長	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイバーシティの推進 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・健康経営の実現 	
③持続可能な社会への貢献	●社会から必要とされ、選ばれる企業へ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経営理念、ビジョンと「サステナビリティ」の考え方の親和性を確認し、方針を策定。 ■ サステナビリティ方針: 当社は、「経営理念」「経営ビジョン」「価値基準」に基づき、持続可能な社会に貢献できる企業を目指します。
	<ul style="list-style-type: none"> ・技術による社会課題の解決 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ESG経営の推進 	
	●次世代社会への貢献	
	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮したものづくり改革 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・サステナブル社会への取組み 	